

B 1 2 0 初 級 (PC 実習あり)	<h2 style="margin: 0;">電気・機械分野の特許調査</h2> <p style="margin: 0;">特許公報の記載事項を把握した技術用語・特許分類の見つけ方 元審査官からみた検索式の作成方法、先行技術文献の見つけ方</p>
講 師	弁理士 久米 輝代 (いちご特許事務所 パートナー 元特許庁第 4 部審査官)
日程・場所	東京会場
	6 月 16 日 (木)、2023 年 2 月 15 日 (水)
時 間	1 日間 (10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html
定 員	24 名 (先着順申し込み)
受講料	20,000 円 (税込 22,000 円)
対 象	電気機械系分野の特許調査担当の初級者以上
内 容	
<p>電気・機械分野における出願前調査をはじめとする特許調査は、技術テーマに沿った正確な調査を行うにはしっかりとした基礎が必要です。</p> <p>企業経験があり、特許庁にて審査を行っていた講師が、審査官からみた「新規性・進歩性」の考え方を交え、特許調査の知識やスキルをご紹介します。知財部門、開発部門の調査担当者を対象に調査レベルの向上を目指します。</p>	
プログラム	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 特許調査のために必要な知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査の目的と種類 ・ 特許文献の種類と上手な読み方 2. 調査ツールについて <ul style="list-style-type: none"> ・ J-PlatPat (特許情報プラットフォーム) ・ クラスタ検索システム ・ 民間の有料データベース 3. 特許調査のための準備・検索方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特許分類による検索 ・ キーワードによる検索 	<ol style="list-style-type: none"> 4. 特許庁における審査の流れ <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査官が行う調査方法 ・ 進歩性の考え方 5. 特許調査の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 検索条件の作成 ・ ヒットした文献の絞り込み ・ 検索条件の修正・方針変更など 6. 演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例説明 ・ 調査結果についての検討

【申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。